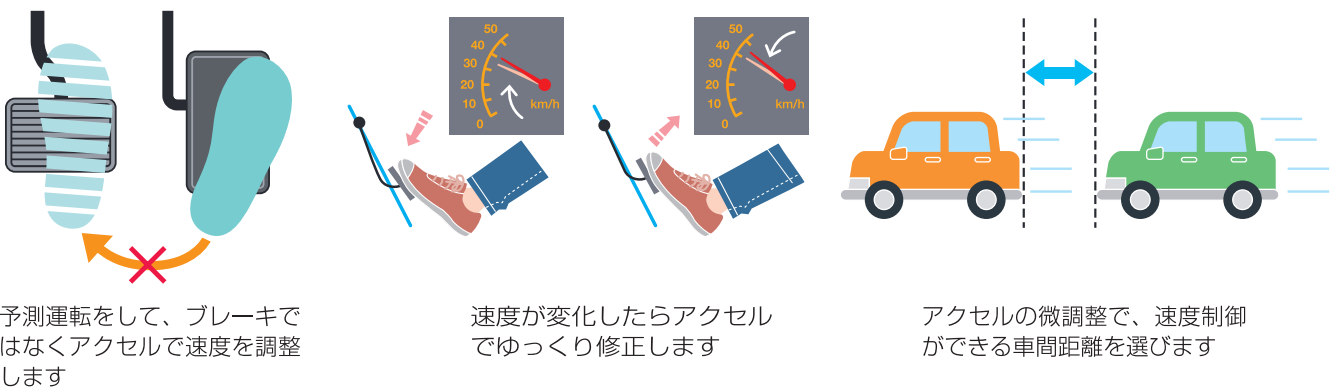


(3) 巡航 加減速の少ない運転

車間距離に余裕をもって、加減速の少ない運転に努めましょう。車間距離を詰めたり、前の車についていく意識で運転すると、速度にムラが生じ加減速の機会が増えます。速度変動を抑えると3.4%程度の燃料消費が少なくなります。また同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が、燃料消費は少なくなります。遅すぎず、速すぎず、先をみて、ゆるやかなアクセル操作で運転しましょう。

操作方法



予測運転をして、ブレーキではなくアクセルで速度を調整します

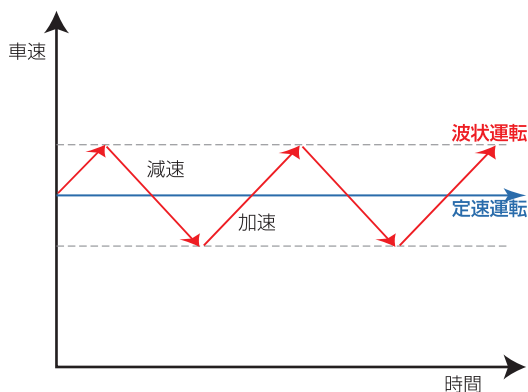
速度が変化したらアクセルでゆっくり修正します

アクセルの微調整で、速度制御ができる車間距離を選びます

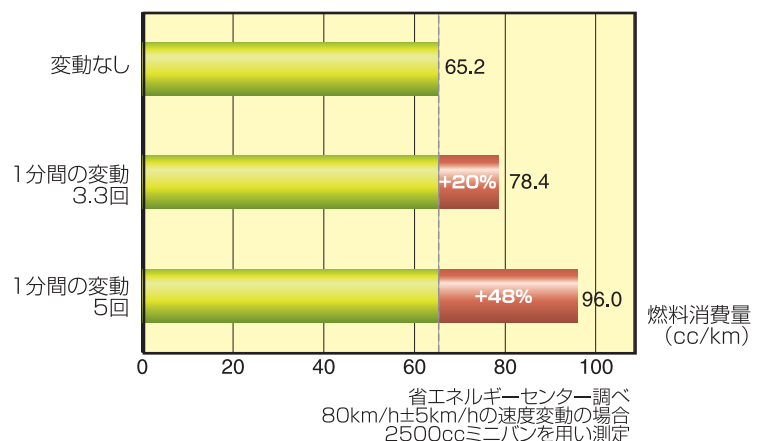
操作のポイント

- ・一般道路では、走行速度を気にするのではなく、速度変動を抑制することを意識しましょう。
- ・流れに乗りながら、適度な車間距離をとりましょう。
- ・前の車に連なって走ると、速度変動が大きくなります（波状運転）。
- ・高速道路では速度を10km/h上げると、10%程度燃料を多く消費します。急がない時は、速度を抑えて走りましょう。

波状運転イメージ図



速度変動による燃料消費量への影響



発進

巡航

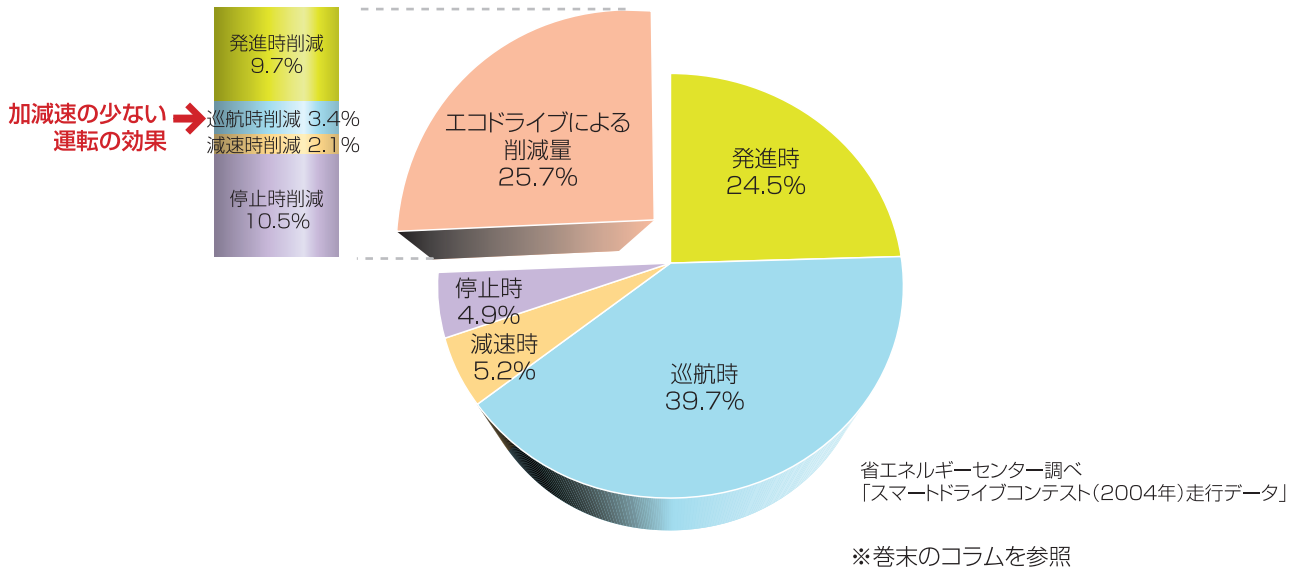
減速

停止

効果

通常の運転では、1km走行する間に98.9ccの燃料を消費します。そのうち巡航では、42.6ccの燃料を消費します。エコドライブをすると、巡航での燃料消費は39.2ccに減らすことができます。燃料消費全体の3.4%を、速度変動抑制などで削減しています。

走行モード別燃料消費割合



なるほどエコドライブ………巡航

一般道路では一定速度で走行することはできません。したがって経済速度を気にするのではなく、速度変動を抑制することが、一番重要です。

前の車両がブレーキを踏んだときにアクセルオフをし、惰性走行します。車間が詰まってきても、前の車両が加速すればブレーキを踏まないで済み、次の加速をゆっくりすることで、適度な車間に戻ります。これが車間の活用であり、速度変動が減ることなのです。

早く走りたい気持ちを少し抑えて走行すると、全体の車両の流れと同じ速度になり、加減速する必要がなくなります。

自転車で、体力の消耗を少なくするには…



一定の速度でこぐ

